

平成 16年 7月 28日

各 位

株式会社 リそなホールディングス
(コード番号 8308)

平成17年3月期 第1四半期情報の開示について

当社及びりそなグループ傘下銀行の、平成17年3月期第1四半期（平成16年4月1日から平成16年6月30日）における四半期情報について、お知らせいたします。

(注) 以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。

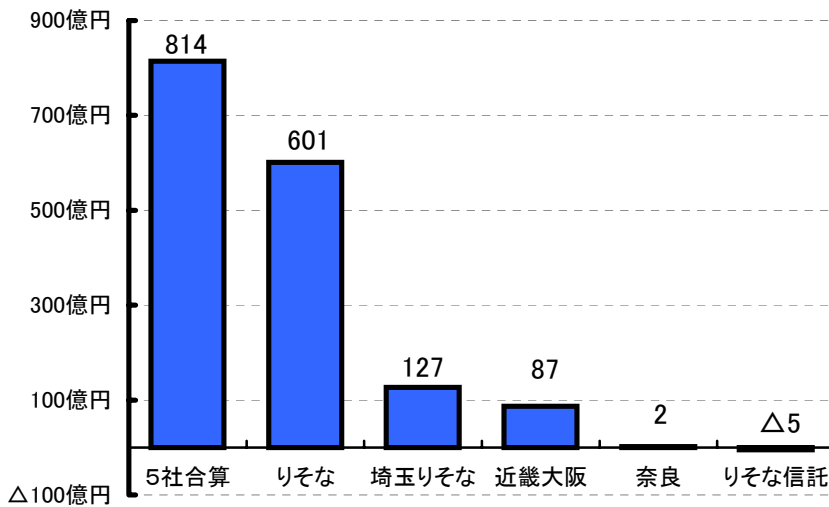
<目 次>

1. 概 要	P. 2、3
2. 経営成績	P. 4
3. 自己資本比率	P. 4
4. 金融再生法ベースのカテゴリーによる債権額	P. 5
5. 時価のある有価証券の評価差額・含み損益	P. 6
6. 預金・貸出金	P. 7
7. りそな銀行の勘定分離の状況	P. 8

1. 概要

(1) 実勢業務純益の状況

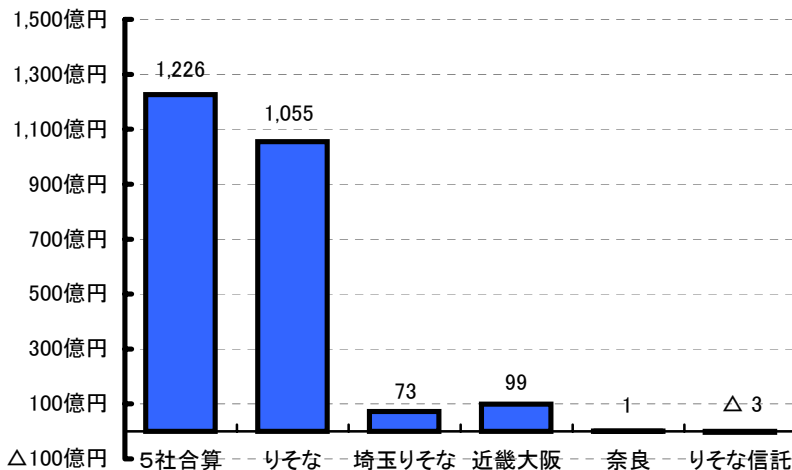
(P4 参照)



- 平成17年3月期第1四半期における傘下銀行単体 5社合算の実勢業務純益は814億円となりました。
- 中間期予想(5社合算1,590億円、平成16年5月24日公表)に対して50%を超えるなど、順調な進捗となっております。
- りそな信託銀行は、その収益の中心である信託報酬の計上が9月・3月に集中することから、第1四半期としては赤字となっております。なお、平成17年3月期の業績は、予想通り実勢業務純益では125億円、当期純利益では75億円の黒字を見込んでおります。

(2) 四半期純利益の状況

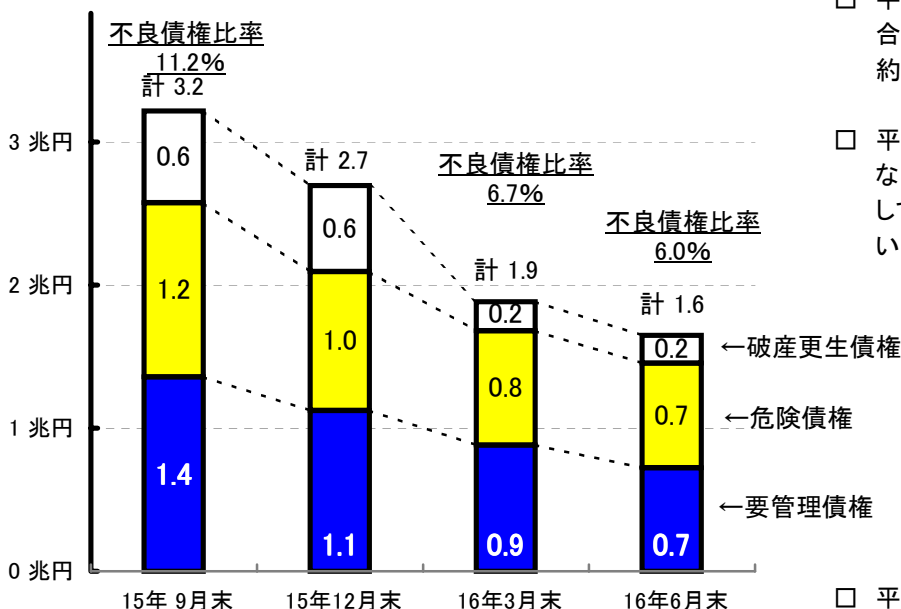
(P4 参照)



- 平成17年3月期第1四半期における傘下銀行単体 5社合算の四半期純利益は1,226億円となりました。(平成16年9月中間期予想 850億円)
- 業務純益が順調に推移したことに加え、政策投資株式の圧縮に伴う処分益や、資産内容改善に伴う一般貸倒引当金の戻入等の要因により、純利益が大幅に積上がりました。

(3) 金融再生法基準開示債権の状況

(P5 参照)



- 平成16年6月末における傘下銀行単体4社合算の金融再生法基準の開示債権額は、約1兆6,500億円であります。
- 平成16年3月末比で約2,400億円の減少となりましたが、貸出資産の質が着実に改善していること、順調にオフバランス化が進捗していること等が要因であります。

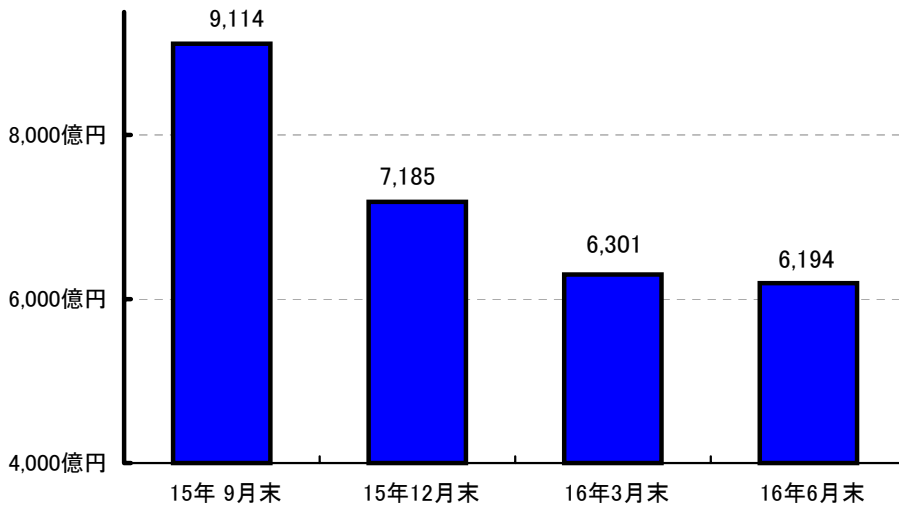
《各社の不良債権比率》

	15/9末	16/3末	16/6末
りそな	12.6%	7.4%	6.5%
埼玉りそな	3.5%	3.0%	2.6%
近畿大阪	13.8%	8.9%	8.7%
奈良	10.6%	6.7%	6.8%
4社合算	11.2%	6.7%	6.0%

- 平成17年3月末の不良債権比率は3%台を目標としております。

(4) その他有価証券で時価のある株式の状況

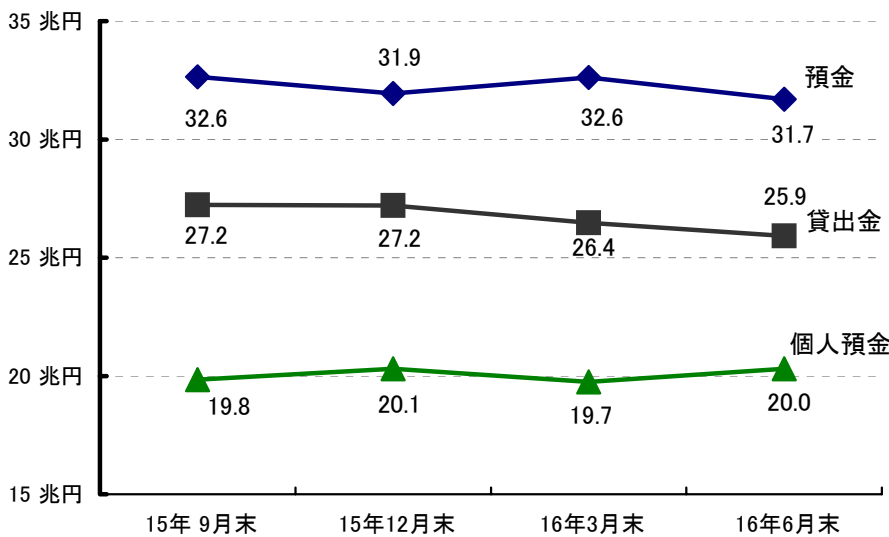
(P6 参照)



- 平成16年6月末における傘下銀行単体4社合算の政策投資株式(上場・店頭)の簿価(取得原価)は、6,194億円であります。
- 当第1四半期における傘下銀行単体4社合算の売却簿価は、約600億円ですが、りそな銀行の信託勘定において保有していた株式を銀行勘定で取得した事から、16年3月末比の表面上の減少幅は少額に止まっています。なお、既に公表しております平成17年3月末の残高目標4,000億円に変更はございません。

(5) 預金・貸出金の状況

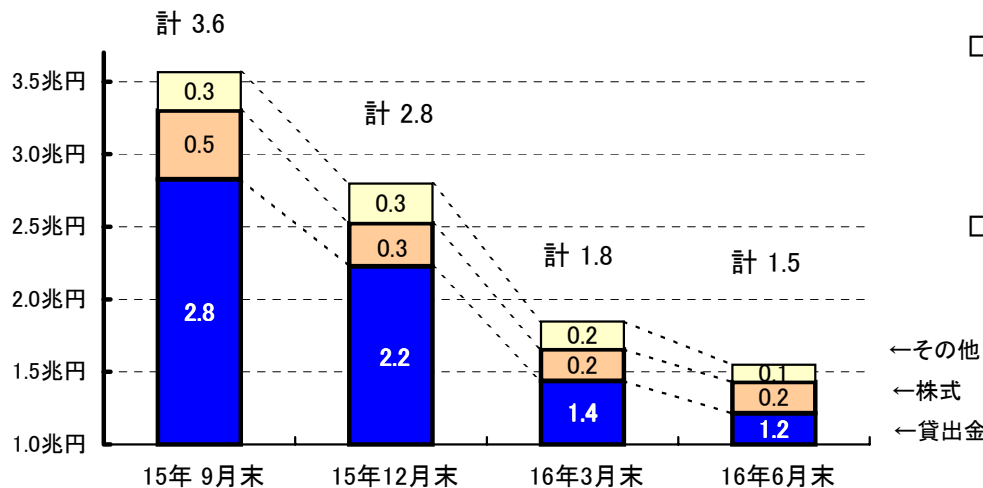
(P7 参照)



- 平成16年6月末における傘下銀行単体の5社合算の預金残高は31.7兆円、傘下銀行単体の4社合算の貸出金は25.9兆円であります。
- 5社合算の国内個人預金は20.0兆円となり、16年3月末比では約2,800億円の増加となっております。

(6) りそな銀行の勘定分離(再生勘定)の状況

(P8 参照)



- りそな銀行は、平成15年9月末を基準として、不良債権等を「再生勘定」に、それ以外を「新勘定」とする管理会計上の勘定分離を実施しております。
- 平成16年6月末の再生勘定残高は、開示不良債権が減少したことを主因に約1兆5千億円まで順調に圧縮が進捗しております。

←その他
←株式
←貸出金

2. 経営成績

株式会社りそなホールディングス

(1) りそなホールディングス〔単体〕

(億円)

	平成17年3月期 第1四半期(実績)	平成16年9月中間 業績予想値
営業収益	107	260
経常利益	63	160
四半期(中間)純利益	63	40

(2) りそなホールディングス〔連結〕

(億円)

	平成17年3月期 第1四半期(実績)	平成16年9月中間 業績予想値
経常収益	2,539	5,100
経常利益	1,154	1,000
四半期(中間)純利益	1,393	850

(3) 傘下銀行〔単体合算〕

(億円)

第1四半期(実績)	5社合算		りそな	埼玉 りそな	近畿 大阪	奈良	りそな 信託
		16/9中間 予想値					
業務粗利益	1,641	3,390	1,123	298	191	9	18
経費 (△)	827	1,800	522	170	103	6	23
実勢業務純益	814	1,590	601	127	87	2	△5
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△29	—	—	△29	—	△0	—
臨時損益	85	△620	130	△48	5	△1	0
うち与信費用 (△)	63	580	10	48	3	1	—
うち株式関係損益	207	—	193	4	10	△0	—
経常利益	928	970	730	108	93	1	△5
貸倒引当金戻入額	339	—	333	—	6	—	—
その他特別損益	△9	△25	△7	△1	△0	△0	—
税引前純利益	1,258	945	1,056	106	99	1	△5
税金費用 (△)	32	95	1	32	0	0	△2
四半期(中間)純利益	1,226	850	1,055	73	99	1	△3
与信費用総額	△304	589	△321	18	△2	1	—

(注)1.実勢業務純益は一般貸倒引当金繰入前・信託勘定不良債権処理前の業務純益

2.与信費用総額は一般貸倒引当金繰入額・臨時損益中の与信費用・貸倒引当金戻入額・信託勘定与信費用の合計であります。(△はネット戻入)

3.りそな信託銀行については、信託報酬・手数料の確定時期が9月および3月に集中しているため、第1四半期の業務粗利益は今年度見込額の4分の1相当額よりも少なくなっております。

3. 自己資本比率

		当中間期末 【予想値】 (平成16年9月30日)	前期末 〔実績値〕 (平成16年3月31日)
りそなホールディングス	自己資本比率	8%程度	7.74%
	(連結) Tier I 比率	4%台前半	3.92%
りそな銀行	自己資本比率	7%台後半	7.14%
	(連結) Tier I 比率	5%台前半	4.88%
埼玉りそな銀行	自己資本比率	7%台半ば	7.65%
	(単体) Tier I 比率	3%台後半	3.89%
近畿大阪銀行	自己資本比率	8%台前半	7.82%
	(連結) Tier I 比率	5%台半ば	5.09%
奈良銀行	自己資本比率	6%台前半	6.21%
	(単体) Tier I 比率	4%台後半	4.88%
りそな信託銀行	自己資本比率	185%程度	110.63%
	(単体) Tier I 比率	185%程度	110.63%

(注)上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動する事があります。

4. 金融再生法ベースのカテゴリーによる債権額

株式会社りそなホールディングス

〔参考〕 (億円)

		平成17年3月期 第1四半期末 (平成16年6月30日) (単体)	平成16年3月期 第1四半期末 (平成15年6月30日) (単体)	前期末 (平成16年3月31日) (単体)
傘下銀行 合算	破産更生債権・準ずる債権	1,940	3,959	2,037
	銀行勘定	1,927	3,913	2,024
	信託勘定	13	43	12
	危険債権	7,313	6,634	7,989
	銀行勘定	7,257	6,581	7,915
	信託勘定	55	51	73
	要管理債権	7,226	18,035	8,815
	銀行勘定	7,168	17,838	8,577
	信託勘定	58	195	237
	合計	16,480	28,626	18,841
	銀行勘定	16,353	28,335	18,517
	信託勘定	127	291	324
りそな銀行	破産更生債権・準ずる債権	1,277	2,789	1,285
	銀行勘定	1,264	2,746	1,272
	信託勘定	13	43	12
	危険債権	5,592	4,686	6,176
	銀行勘定	5,536	4,635	6,103
	信託勘定	55	51	73
	要管理債権	5,974	15,360	7,425
	銀行勘定	5,916	15,165	7,187
	信託勘定	58	195	237
	合計	12,844	22,838	14,886
	銀行勘定	12,716	22,547	14,562
	信託勘定	127	291	324
埼玉りそな銀行	破産更生債権・準ずる債権	163	302	189
	危険債権	596	613	607
	要管理債権	591	801	733
	合計	1,351	1,717	1,530
近畿大阪銀行	破産更生債権・準ずる債権	477	795	541
	危険債権	1,083	1,304	1,165
	要管理債権	629	1,842	625
	合計	2,190	3,941	2,332
奈良銀行	破産更生債権・準ずる債権	22	70	21
	危険債権	41	29	39
	要管理債権	31	29	31
	合計	94	129	92

(注) 1. 平成16年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

各計数の算出方法は、以下のとおりであります。

① 開示区分

平成16年6月末を基準日として、金融庁の「金融検査マニュアル」等に準拠し制定した「自己査定基準」に則り債務者区分の見直しを実施し、その結果に基づき、以下のとおり区分しております。

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- ・危険債権
- ・要管理債権

② 開示額

平成16年6月末時点における残高をベースとしております。

なお、新たに「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

5. 時価のある有価証券の評価差額・含み損益

株式会社りそなホールディングス

(1) その他有価証券に係る評価差額

[参考] (億円)

		第1四半期末(平成16年6月30日)					前年同四半期末(平成15年6月30日)					前期末(平成16年3月31日)				
		取得 原価	時価	評価 差額	うち		取得 原価	時価	評価 差額	うち		取得 原価	時価	評価 差額	うち	
					うち益	うち損				うち益	うち損				うち益	うち損
合計	その他有価証券	70,015	72,421	2,406	2,751	344	62,581	63,324	743	1,590	847	67,147	69,561	2,413	2,680	267
	うち株式	6,194	8,712	2,518	2,580	61	12,574	13,287	713	1,360	646	6,301	8,617	2,315	2,410	94
	うち債券	59,667	59,526	△140	87	228	46,513	46,554	41	147	105	56,638	56,619	△18	132	150
りそな銀行	その他有価証券	47,206	49,226	2,020	2,256	236	50,601	51,260	659	1,347	688	46,252	48,285	2,033	2,223	190
	うち株式	5,163	7,235	2,071	2,122	51	11,115	11,709	594	1,178	584	5,183	7,118	1,935	2,011	76
	うち債券	39,863	39,788	△75	65	140	37,165	37,171	6	93	86	38,232	38,219	△12	89	102
埼玉りそな銀行	その他有価証券	12,733	13,078	345	401	56	7,263	7,387	123	140	16	10,533	10,807	273	309	35
	うち株式	885	1,279	393	394	0	959	1,085	126	126	0	892	1,191	298	298	0
	うち債券	11,480	11,429	△51	4	55	6,303	6,301	△2	13	15	9,569	9,541	△27	7	35
近畿大阪銀行	その他有価証券	9,659	9,699	40	91	51	4,278	4,236	△41	99	140	10,018	10,086	67	110	42
	うち株式	144	197	53	63	9	496	490	△6	54	61	193	239	46	63	16
	うち債券	7,906	7,891	△14	16	31	2,613	2,649	35	37	1	8,421	8,442	21	33	12
奈良銀行	その他有価証券	266	267	0	1	0	287	289	1	3	1	271	272	0	1	1
	うち株式	0	0	0	0	-	1	1	△0	0	0	0	0	0	0	0
	うち債券	265	266	0	1	0	280	282	1	3	1	271	271	0	1	0
りそな信託銀行	その他有価証券	150	150	△0	0	0	150	150	△0	0	0	150	150	△0	0	0
	うち株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	うち債券	150	150	△0	0	0	150	150	△0	0	0	150	150	△0	0	0

(注) 四半期末の「合計」は傘下銀行の計数を単純合算したもの、前期末の「合計」はりそなホールディングスの連結ベースの計数です。

[参考] 政策投資株式の売却状況 (億円)

	第1四半期累計 (平成16年4月1日～6月30日)
傘下銀行単純合算	595
りそな銀行	538
埼玉りそな銀行	7
近畿大阪銀行	49
奈良銀行	0

(注) 1. その他有価証券で時価のある株式の売却簿価(取得原価)であります。
2. 傘下銀行単純合算の計数は、りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、奈良銀行の計数の合計であります。

(2) 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益

[参考] (億円)

		第1四半期末(平成16年6月30日)					前年同四半期末(平成15年6月30日)					前期末(平成16年3月31日)				
		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち	
					うち益	うち損				うち益	うち損				うち益	うち損
りそな銀行	子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	313	281	△32	-	32	313	729	415	415	-
埼玉りそな銀行	満期保有目的の債券	415	402	△13	0	13	-	-	-	-	-	263	260	△3	-	3
奈良銀行	満期保有目的の債券	23	23	△0	0	0	24	24	△0	0	1	23	23	△0	0	0

(注) 近畿大阪銀行、りそな信託銀行は該当ありません。

(注) 1. 以上の有価証券の評価差額・含み損益の状況は、「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の
コマーシャル・ペーパー及び信託受益権が含まれております。
2. 前年同四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、償却原価法適用後・減損処理前の帳簿価額と時価との差額を、第1四半期末
及び前期末は償却原価法適用後・減損処理後の帳簿価額と時価との差額を計上しております。
3. 時価は、株式については期末(四半期末及び中間期末を含む)前1カ月の市場価格の平均に基づいて算定された額に、それ以
外については、期末における市場価格等に、それぞれ基づいております。

[参考] 合同運用指定金銭信託の有価証券評価損益

[参考] (億円)

		第1四半期末(平成16年6月30日)					前年同四半期末(平成15年6月30日)					前期末(平成16年3月31日)				
		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち	
					うち益	うち損				うち益	うち損				うち益	うち損
りそな銀行	合計	309	303	△6	0	6	1,258	1,053	△205	5	210	1,020	907	△112	6	118
	うち株式	0	0	0	0	0	800	640	△159	5	164	660	565	△95	6	101

6. 預金・貸出金

株式会社りそなホールディングス
(億円)

		第1四半期末 (平成16年6月30日)		前期末 (平成16年3月31日)	
			前期末比増減		
傘下銀行単純合算	預金(末残)	317,908	△8,301	326,209	
	国内個人預金(末残)	200,235	2,756	197,479	
	うち流動性預金	91,625	4,162	87,463	
	うち定期性預金	106,664	△1,251	107,916	
	国内法人預金(末残)	97,953	△8,155	106,109	
	うち流動性預金	72,514	△8,509	81,024	
	うち定期性預金	21,065	△120	21,186	
	信託元本(末残)	5,635	△54	5,690	
	貸出金(末残)	259,223	△5,530	264,753	
	銀行勘定	257,000	△5,460	262,460	
	信託勘定	2,223	△69	2,293	
	りそな銀行	預金(末残)	193,099	△10,189	203,288
		国内個人預金(末残)	104,115	1,096	103,019
		うち流動性預金	48,915	1,909	47,005
うち定期性預金		53,730	△681	54,411	
国内法人預金(末残)		78,013	△7,831	85,845	
うち流動性預金		57,402	△8,240	65,642	
うち定期性預金		16,994	81	16,912	
信託元本(末残)		5,635	△54	5,690	
貸出金(末残)		183,021	△5,177	188,198	
銀行勘定		180,798	△5,107	185,905	
信託勘定		2,223	△69	2,293	
埼玉りそな銀行		預金(末残)	88,393	2,079	86,314
		国内個人預金(末残)	66,673	1,704	64,969
		うち流動性預金	32,910	1,954	30,956
	うち定期性預金	33,330	△229	33,560	
	国内法人預金(末残)	13,456	△281	13,737	
	うち流動性預金	10,923	△98	11,021	
	うち定期性預金	2,026	△274	2,300	
	貸出金(末残)	50,373	570	49,803	
	近畿大阪銀行	預金(末残)	34,760	△176	34,936
		国内個人預金(末残)	28,138	△47	28,186
うち流動性預金		9,366	288	9,078	
うち定期性預金		18,730	△333	19,064	
国内法人預金(末残)		6,182	△18	6,201	
うち流動性預金		3,980	△150	4,130	
うち定期性預金		1,952	74	1,878	
貸出金(末残)		24,494	△920	25,415	
奈良銀行		預金(末残)	1,621	△14	1,635
		国内個人預金(末残)	1,306	2	1,304
	うち流動性預金	433	9	423	
	うち定期性預金	873	△7	881	
	国内法人預金(末残)	268	△22	291	
	うち流動性預金	175	△20	195	
	うち定期性預金	92	△2	95	
	貸出金(末残)	1,334	△2	1,336	
りそな信託銀行	預金(末残)	33	△0	33	

(注) 1. 信託勘定は、元本補てん契約のある信託であります。

2. 国内預金は日本銀行宛報告ベースで算出(除く海外、特別国際金融取引勘定)

流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金、定期性預金＝定期預金＋定期積金

7. りそな銀行の勘定分離の状況

○ 再生勘定の状況(残高実績)

(単位:億円)	第1四半期末 (平成16年6月30日)	平成16年3月末	分離基準日 (平成15年9月30日)	増減 (分離基準日比)	〔残高目標〕 (平成17年3月末)
再生勘定全体	15,437	18,463	35,661	△20,224	
うち貸出資産	12,072	14,367	28,263	△16,191	
うち開示債権	11,199	13,167	25,854	△14,655	
うち上場・店頭株式	2,163	2,183	4,748	△2,585	ゼロ
うち不動産	59	59	340	△281	ゼロ
うち保証金等	52	74	270	△218	ゼロ
うち会員権	13	14	20	△7	ゼロ

- (注) 1. 再生勘定の貸出資産および開示債権額はりそな銀行全体の計数(5ページ)とは一致しません。
(平成15年9月末現在で、再生勘定の債務者は固定しております)
2. 上記には、分離基準日以降に正常・その他要注意先以上にランクアップした貸出資産(3,560億円)、有価証券(772億円)については含まれておりません。
3. 貸出資産と開示債権の目標値は、りそな銀行全体で「不良債権比率3%台」を達成する水準としております。
4. 上場・店頭株式は簿価ベースで記載をしております。
5. 不動産は、遊休・廃止予定物件残高のみを記載しております。
6. 保証金等は、廃止予定物件に差入れ分のみを記載しております。

○ 新勘定の状況

(単位:億円)	平成16年度 第1四半期	平成15年度 下期
修正コア業務純益 ...a	473	706
実勢業務純益 ...b	525	713
実勢業務純益ROA ...c	0.78%	0.51%

- (注) a. 実勢業務純益より債券関係損益、子会社配当を除いた業務純益
- b. 一般貸倒引当金繰入前、信託勘定不良債権処理前の業務純益
- c. 分母は新勘定の総資産期中平残

以上